

◆NPO JAVCOM :VR/AR を主題としたセミナーを開催

2017年話題の体験映像のトップランナー達が集結!

「最先端映像ビジネスの今と未来が見える VR/AR セミナー」

NPO JAVCOM (NPO 法人 日本ビデオコミュニケーション協会)では、2017年3月8日(水)、日本電子専門学校9号館B1F メディアホール(東京・新宿区)にて「2017年話題の体験映像のトップランナー達が集結! 「最先端映像ビジネスの今と未来が見えるVR/AR」と題してセミナーを開催する。

映像制作ビジネスにおいて、本年、2大ウェーブを起こすこと間違いないと注目されるVR(仮想現実)とAR(拡張現実)。今回のセミナーでは、これからの映像制作現場を大きく変えていくであろうVR/ARを牽引する方々から、そのノウハウを伺うと同時に、今後の展望を探る。

■講演1 基調講演 13:05~13:45

「VR2.0の世界」

東京大学工学博士 廣瀬 通孝 氏

昨今、VR技術が再び注目を集めている。VRという言葉がはじめて使われたのが1989年のことであるから、今回のVRは、VR2.0とでも呼ぶべきであろう。本講演では、VR2.0技術の本質の新しさについて解説し、それが今後どう進化していくのか、どう産業や社会に影響を与えていくのかについて考えていきたい。

■講演2 「360°カメラRICOH THETA 開発ストーリー&360度

映像を楽しみと感じる10のコツ」13:55~14:55

「おうちで科博国立科学博物館VR」を制作するにあたり、360度映像を楽しく作るために学んだ10のことを紹介します。

(株)リコー 新規開発事業本部SV事業開発センター VR事業室室長 野口智弘氏
太陽企画(株)TECARAT ディレクター大西悟氏

■講演3 「簡易型HMDのビジネス応用事例及び人間工学」

15:05~15:45

大学での研究を基にした高品質な3DVR トータルソリューションVOORプロジェクトによる360度3DVRコンテンツの制作事例、配信事例を紹介していく。

また簡易型HMDの開発と人間工学的検討を加え、今後のVR発展につながる要素をお伝えします。

(株)リ・インベンション代表取締役/国際基督教大学准教授 太田啓路氏

■講演4 「聖地巡礼をビジネスに!!」 16:00~16:40

聖地巡礼と言う言葉が2016年に話題になったが、その先駆けともいえる「舞台めぐり」が行っているARやGPSを使った街の活性化事例の紹介と、「映像を見る」から「映像を体験する」という新しいビジネスの紹介。

ソニー企業(株)事業開発室 コンテンツツーリズム課
「舞台めぐり」チーム代表シニアマネージャー 安彦 剛志 氏

■講演5 「広告クリエイティブにおけるVR/AR事例」16:50~17:30

広告業界の中でもデジタルを領域とする博報堂アイ・スタジオは、生活者に新たな体験と感動を与える次世代型のプロモーションとしてVR/AR活用に注目している。これまでに様々な国内外のクライアントと創りあげたVR/AR事例を用いて、制作背景や広告効果及び、制作風景などについて紹介する。

(株)博報堂アイ・スタジオクリエイティブテクノロジー部

アドバンステクノロジーチームチームリーダー/

テクニカルディレクター 田中英明氏

※ 都合により演題等変更になる場合があります。

会費: JAVCOM会員社5,000円・一般参加者6,000円

後援団体会員社 5,000円

主催: NPO 法人日本ビデオコミュニケーション協会

<http://javcom.or.jp/>

後援(予定): ITVA-日本/(一社)映像情報メディア学会/(公社)

映像文化製作者連盟/(一社)全日本シーエム放送連盟/(一社)全

日本テレビ番組製作社連盟/(一社)日本アド・コンテンツ制作協会/(

一社)日本映画製作者連盟/(一社)日本映画テレビ技術協会/(協同

)日本映像事業協会/(一社)日本映像ソフト協会/(一社)日本ポスト

プロダクション協会/(一社)日本民間放送連盟/ジャパンデータスト

レージフォーラム ※ 順不同

特別協賛: 学校法人電子学園日本電子専門学校

【問い合わせ先】

NPO 法人 日本ビデオコミュニケーション協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-10-510

TEL.03(3234)5994 FAX.03(3234)5995

◆日本オーディオ協会:新たなオーディオ展示会

「OTOTEN2017」を5月13日、14日に開催決定

一般社団法人日本オーディオ協会は全く新たなオーディオ展示会として「OTOTEN 2017」を開催する。

これまでのオーディオファンに加えて20代~30歳代の男女に注力し“音楽リスナー”にターゲットを当てる、秋中心の展示会をあえて春に行い注力しなかった結果市場ボリュームが減少した春市場を盛り返す、場所を駅に近い東京国際フォーラムへ、ストリーミング及びハイレゾ配信等コンテンツ配信業界とのコラボレーションを行い展示会の内容を変更するなど、これまでのハード中心の展示会を抜本的に見直したものになる。また、音楽アーティストである「OTOTEN 大使」との共同でライブとオーディオ視聴の楽しさを全面に提案する。

ハード商品はスマホからヘッドホン、ハイレゾ・オーディオカー・ホームオーディオに至る、これまでになかった規模のオーディオ関係商品を一堂に会し“あなた好みの試聴スタイル”を見つけた場を提案する。また、“日本発・世界初”の「ハイレゾ・オーディオ(サウンド)」の提案は3年目に入り、今回の展示会でも主要テーマとして扱われる。

——開催概要——

会期: 2017年5月13日(土) 10:00~19:00

14日(日) 10:00~17:00

会場: 東京国際フォーラム

目標来場者/出展者数: 20000人/82社・団体

主催: 一般社団法人日本オーディオ協会

企画/運営: 「OTOTEN2017」実行委員会

入場料: 無料

【問い合わせ先】

一般社団法人日本オーディオ協会 事務局: 村松

TEL.03-3448-1206

◆KPI :GODOX・Aputureの新製品を発売

株式会社ケンコープロフェッショナルイメージングはGODOXの新製品として無線によるワイヤレストリガー機能を内蔵したスピードライト「V860 II C/N」「ライトスタンドS/M/L」ならびにAputureの一眼動画等に使用できる「V2 リグキット」と単体の「V ホイールメタルフォローフォーカス」「V リグ」「V マットボックス」を2月15日から発売した。

■Aputure V2 リグキット



「V ホイールメタルフォローフォーカス」「V リグ」「V マットボックス」のセットモデル。一眼動画でギア付きのシネマレンズを使う撮影に対応するリーズナブルなリグである。

V ホイールメタルフォローフォーカス：スムーズで正確なフォーカス制御が可能なフォローフォーカス。ギアホイールを取り外して右、左どちらにも使用できるデザインで標準的な60mmピッチの15mmロッドに装着可能で、レンズはフィルター径52mmから86mmに対応している。ギアを装備しないレンズの場合は、付属のギアリングをレンズのフォーカスリングに装着して使用する。

V リグ：カメラを肩載せスタイルで使用できる。肩載せパッドとハンドルにより安定してカメラを保持でき、ロッド部分にフォローフォーカスやマットボックスを装着可能。ロッドは15mm径。カメラ装着ネジは1/4ネジ。

V マットボックス：43mm径から77mm径のレンズと組み合わせ可能なマットボックス。60mmピッチの15mmロッドを介してカメラに取り付け可能で、取り外し可能な3枚のバードアを装備している。高さ調整機構によりレンズの位置と調整が可能。

■GODOX V860-ii カメラ用フラッシュ

従来モデルの基本性能を踏襲し、新たにGODOX 2.4GHz ワイヤレス X1 システムに対応する送受信機能を内蔵した新モデルで、Cはキャノン用、Nはニコン用。カメラ側にX1フラッシュトリガーを使用することでワイヤレスでのTTLコントロールが可能。また、カメラ上に「V860 II」を取りつけば、X1フラッシュシステムに対応したほかのオフカメラフラッシュと合わせてワイヤレスでTTL調光することも可能になる。V360の特徴である、リチウムイオ



ンバッテリーによる1.5秒チャージ、フルで650回の発光、ニコン用はi-TTL、キャノン用はE-TTLによる調光などはそのまま踏襲された。

■GODOX ライトスタンドS/M/L

使用状況により選択できる長さ（縮長、伸長）の異なる3種類のライトスタンド。いずれもオスダボタイプで、Sのダボ部には1/4インチネジが装備されている。

S：縮長 約73cm、伸長 約196cm 3段

M：縮長 約89cm、伸長 約250cm 3段

L：縮長 約100cm、伸長 約260cm 3段



◆KPI:コンパクトなライティングデバイス「LUME CUBE」発売

株式会社ケンコープロフェッショナルイメージングはコンパクトなライティングデバイス「LUME CUBE」を2月10日から発売した。105gのコンパクトなボディに最大1500ルーメンの光量を持ち、IP68の防水仕様でアウトドアの撮影にも利用できる。iOS、Android対応の無料アプリで複数の「LUME CUBE」をコントロールすることが可能。一眼レフカメラやGoPro、スマートフォンやドローンに取り付けるなど様々な活用ができる。



左よりシングルブラック、スマートフォンアプリ



左からGoProマウントアーム、ビデオマウント、バイクマウント

【問い合わせ先】

株式会社ケンコープロフェッショナルイメージング

TEL:03-6840-3622 FAX:03-6840-3861

URL:<http://www.kenko-pi.co.jp>

◆JVC ケンウッド :スポーツコーチングカメラシステムが 近接無線技術「TransferJet」に新たに対応



株式会社JVC ケンウッドは、株式会社スポーツセンシング社と共同開発したスポーツコーチングカメラシステムが、近接無線技術「TransferJet」に新たに対応したことを発表した。株式会社東芝製のTransferJet 搭載SDHC メモリーカード及びTransferJet 対応アダプタとスポーツセンシング社のスポーツコーチング用アプリケーションソフト「Sports Coaching VIVER Ver.2.5」を用い、各種スポーツ競技の高度な分析をより迅速に、シンプルな手順で可能にする「映像を用いたスポーツコーチングソリューション」を提案する。

スポーツコーチングカメラシステムは撮影しながらイベント情報を記録できる「タギング」機能を搭載し、必要なシーンへすばやくアクセスすることができる映像を用いた分析ソリューションとして発売以来、トップアスリートの育成・強化など多くのスポーツの現場で活用されてきたが、いったんパソコンへ取り込み、映像分析アプリケーションでの編集作業が必要であり競技中の選手にその場でフィードバックするにはタイムラグが生じていた。今回TransferJet 搭載SDHC メモリーカードおよびアダプタに対応することで映像を撮影した本カメラシステムの映像にタブレットを近づけるだけでタギング情報の付加された映像が自動で無線転送されるようになり、トレーニングや試合中における映像を用いたフィードバックの大幅なスピードアップが実現される。また、競技者・指導者・分析スタッフが機器の難しい操作を習熟する必要がなくなり、さらなる競技力向上に貢献する。

同社は映像を用いたスポーツコーチングソリューションがシンプルに構築できる同システムをトップアスリート層だけでなく、各種スポーツ入門層や小規模サークルなどに向けて幅広く提案していく。

【問い合わせ先】

株式会社JVC ケンウッド メディア事業部
ソリューション事業統括部ソリューション1 部
TEL:045-444-5401

◆DPSJ :Magewell 新製品「USB Capture Plus Family」 出荷開始

日本デジタル・プロセッシング・システムズ株式会社は、Magewell 社の新製品「USB Capture Plus Family」が出荷開始されたことを発表した。高品質なビデオインターフェースとして人気のMagewell 社製品「USB Capture Family」に加えて最新のモデルとなる。映像プロだけでなく、ハイエンドなホビーユーザーにも向けた強力な機能として、オーディオ機能の強化、ユーザーコントロールを拡張、ループスルー信



号 (HDMI, SDI)が搭載された。

「USB Capture Plus Family」は低価格だが、USB3.0を通してプロ仕様のビデオとオーディオのキャプチャをするために、ノートPCを含む様々なコンピュータで利用可能。ドライバーフリー・デザインと自動入力検出によって真のプラグ・アンド・プレイを実現する。Windows、Mac、Linux OS に対応し、さらにメジャーなストリーミングやエンコード、ライブプロダクション、ビデオ会議などのキャプチャソフトウェアと幅広い互換性を持っている。

入力の種類によって3種類のモデルから選ぶことができる。USB Capture Plus Family は、放送やライブイベントのストリーミング、医療映像、企業内向けトレーニング、ゲームなど、幅広い用途に適する。

■USB Capture HDMI Plus

HDMI インターフェースから、最大1920×1200、1920×1080、2048×1080 60fpsでのビデオキャプチャが可能。ループスルー出力から、ソース信号を同時にモニターやプロジェクターに出せるので、HDMI 分岐器が不要。配線もシンプルになりコストも抑えられる。HDMI エンベデッドオーディオに対応し、アナログマイク入力からキャプチャ中にナレーションを入れられるので特にオーディオ入力のないコンピュータを使うときに便利。ステレオ・ヘッドホン出力も搭載されている。

「USB Capture HDMI Plus」は4K (60fps、4:2:0 カラー・サブサンプリングまたは30fps 4:4:4)のHDMI 入力にも対応し、キャプチャまたはストリーミング時に自動的にHD ヘダウンコンバートする。

■USB Capture SDI Plus

「USB Capture SDI Plus」はプロフェッショナルな放送やプロダクションのワークフローで必要とされる機能を提供する。3Gbps SDI を介して、最大1080p60 エンベデッドオーディオのキャプチャが可能。高価で複雑なルーティング装置等を使用せずに、SDI ループスルーから入力信号を他の機材やディスプレイ等へ送ることができる。アナログのステレオオーディオ入出力からラインレベルでのキャプチャやモニタリングが可能です。

■USB Capture DVI Plus

DVI インターフェースから、最大1200p60でのビデオキャプチャが可能 (最大入力解像度 2048 x 2160 からダウンコンバート)、ラインレベルのアナログオーディオ入出力もある。DVI モデルはHDMI 信号 (エンベデッドオーディオ対応)もキャプチャでき、VGA やコンポーネントのアナログビデオ信号もキャプチャできる (要アダプタ)。

全モデルにMagewell ハードウェアベース機能である、高品質なインタレース解除やアップ/ダウンコンバート、イメージ制御などをCPUリソースを使わずに実行できるビデオプロセス機能が搭載されており、使用するソフトウェアにCPUリソースを最大限割り当てること

が可能。新たなUSB Capture Utility ソフトウェアは、プロセス設定や詳細なステータス情報へアクセスするためのコントロールが拡張された。他にも、検出時間の高速化、USB オーディオ制御を向上させる ASRC テクノロジーによるFPGA ベースのオーディオプロセス、デバイスと入力信号の状態を示すインジケータなどが拡張されている。

【問い合わせ先】

日本デジタル・プロセッシング・システムズ株式会社
TEL:03-6746-0231

◆MI7:ハイブリッド・ミキサー「StudioLive AR USB」を発売

株式会社エムアイセブンジャパンはハイブリッド・ミキサー「Studio Live AR USB」の販売を2月24日に開始した。



「StudioLive AR USB」シリーズは、クラスAプリアンプ/EQ/デジタル・エフェクトを搭載したアナログ・ミキサーに、24Bit 96kHz対応のマルチチャンネルUSBオーディオ・インターフェース、SD/SDHCメモリー・カード録音/再生、そしてBluetoothオーディオ・レシーバーによるワイヤレス音楽再生機能を1台に統合。ラインアップは、8チャンネル仕様のAR8 USB、12チャンネル仕様のAR12 USB、16チャンネル仕様のAR16 USBの3機種。レコーディングや音楽制作のためのCapture/Studio One Artistソフトウェアも収録し、ライブPA、バンドリハーサル、ホームスタジオ、音楽制作、番組配信に理想的なオールインワン・ハイブリッド・ミキサーとなっている。

「StudioLive AR USB」シリーズはステージ、リハーサル、ホームスタジオでのミキシングとレコーディングに必要な接続性能とコントロールを持っている。PreSonusのクラスAプリアンプを搭載したマイク入力、インストゥルメント(Hi-Z)入力、ライン入力、3バンドEQなどを装備。メイン出力に加えて、ステージ・ウェッジ、ヘッドフォン・アンプ、インイヤール・システムへの供給用に専用のバスを備えたモニター・ミックス出力も搭載している。また、「StudioLive AR USB」シリーズはスタジオ・ミキサーでもあるため、モニター・スピーカー用にボリューム・コントロールを備えたコントロール・ルーム出力も搭載されている。ダイレクトボックスが不要でギターやベースを直接接続することが可能。搭載されたパラメトリックEQでの音色調整や、デジタル・エフェクトを使用してリッチなディレイ/リバーブをかけることも簡単にできる。RCAステレオ入力と1/8"ステレオ入力に加え、Bluetoothオーディオ、SD/SDHCまたはコンピューターからのメイン出力を立ち上げることが可能なSuper Channelが用意されており、メモリーカードやPC、スマートフォンから音楽を再生することが可能。

【問い合わせ先】 株式会社エムアイセブン ジャパン
107-0052 東京都港区赤坂2-22-21

◆NewTek: 米高校テレビ放送、NewTek NDI 技術を活用した模擬大統領選挙速報を実施

昨年11月、ベン・トラフォード高校(米国ペンシルバニア州、ピッツバーグ)はNewTek社が開発、販売するライブ映像制作システム「TriCaster」と自社開発のVideo over IP テクノロジー「NDI」を活用し、システム全体費用面においても削減し、地元放送局のプロの演出に匹敵する"模擬大統領選挙速報"のライブ放送を実施した。NDI(ネットワーク・デバイス・インターフェース)は、NewTekが独自に開発した双方向性を持つIPワークフローのテクノロジーとして、既存のギガビット・イーサネット接続においても速度や品質を損なうことなく映像、音声、加えてメタデータを含めたデータの送受信を可能にする技術。ベン・トラフォード高校のテレビ制作学科の学生達は、教師の指導のもと、NDIを活用してiPadのカメラからの映像をワイヤレスで学内のネットワークを介し、マルチカメラ映像制作システム「NewTek TriCaster+Advanced Edition」へ送出した番組作りを準備期間3日で実現した。



ニュースキャスター役の学生がクロマキーセット前に座り、背景に選挙速報結果を見せながら、キャスターの前にアニメーションするグラフィックス・タイトルを表示。さらに、現場のレポーターとスタジオのキャスター間をスイッチャーで切り替え、2画面表示によるライブ放送を行った。



iPadで撮影している映像ストリームは、NDI経由でワイヤレスに学内のネットワークを介してTriCasterへ転送される。ツイッターを利用して出口調査を実施



ベン・トラフォード高校が採用している TriCaster 460

【問い合わせ先】

株式会社ディストーム TriCaster 事業部
電話:03-5211-3208(受付時間:土日祭日を除く 10:00~18:00)
メール: tricaster@dstorm.co.jp
株式会社アスク 担当: 山本 操
電話:03-5215-5650

◆ゼンハイザー：ヘッドホン新製品2機種と マイクロフォン1機種を発売

□「HD 280 PRO MK2」：
密閉型のモニタリング用ヘッド
フォン。周囲騒音を絶縁するレベ
ルが非常に高いため、DJ や騒音
の大きい野外での使用に適する。
折りたたみ式イヤークラスで持
ち運びの際も場所をとらない。

<仕 様>

型式：ダイナミック・密閉型／周
波数特性：8~25,000Hz／イン
ピーダンス：64Ω／音圧レベ
ル：113dB／質量：約382g(ケーブル含む)／接続ケーブル：ケーブル長
MIN 1.3m/MAX 3.0m(片だしカールコード)、3.5mmステレオミニプラ
グ(ストレート型)／付属品：6.3mm変換アダプター／その他の機能：折り
たたみ可能、回転式イヤークラス／保証期間：2年



□「PXC 480」：
同社独自のアクティブ・ノ
イズキャンセリング技術
「NoiseGard」が採用され、ナチ
ュラルなサウンドバランスの
ため長時間使用していても機
器疲れがない。軽量かつ折りた
たみ式タイプであり折りたた
んだ「PXC 480」を入れるた
めのキャリングケースも付属
する。

<仕 様>

型式：ダイナミック、密閉型／周波数特性：17~23,000Hz／イン
ピーダンス：150Ω/45Ω (アクティブ/パッシブ)／音圧レベル：
109dB／質量：約220g／接続ケーブル：ケーブル長 1.4 m (右側片
出し) マイク付きリモコンケーブル／3.5 mm ステレオミニプラグ(L
型)／付属品：キャリングケース、充電用ケーブル、3.5mm - 6.3mm
変換プラグ、航空機用アダプタ／その他の機能：折りたたみ可能、アクテ
ィブ・ノイズキャンセリング機能 (最大50 時間)



□「AMBEO VR MIC」：ゼンハイザー初のAmbisonics 方式の録音
に対応したマイク。
Ambisonics 方式と
は、全周360° で空間
の音全体を録音し、そ
れを再現する技術。従
来のステレオで得られる左右の音だけでなく、上下、前後までも含む
サラウンドを提供することができる音響再生方式で、360° 映像コン
テンツに音声を埋め込むことも可能である。VR ヘッドマウントディス
プレイの普及やYoutube 360° 動画での再生が可能になったため、
Ambisonics 方式を採用すれば、コンテンツ制作の幅を広げることが可
能になる。



AMBEO VR MIC は、これ一本で Ambisonics 方式の録音を可能にす
る。AMBEO VR MIC には 4 面体に配置された 4 つの単一指向性カ
プセルが取り付けられています。それぞれのカプセルが集音する音声
を Ambisonics の A フォーマットと呼ばれる信号で出力する。
AMBEO A-B フォーマットコンバータ(無償提供プラグイン)を使用
してこれらの4つの信号を Ambisonics の B フォーマットへと変換す
る。この後、各種 DAW や映像編集ソフトとの組み合わせが可能になる。

<特 長>

- ・1本のマイクで360度の音を収録
- ・無償提供プラグイン AMBEO A-B FORMAT CONVERTER で、A
フォーマットから B フォーマットへ変換可能
- ・マッチングの取れた4つのエレクトレット・コンデンサマイクカ
プセルを搭載

【問い合わせ先】

ゼンハイザージャパン株式会社

<http://www.sennheiser.co.jp/>

◆ヒビノインターサウンド：CODA AUDIOのパワーアンプ 「LINUS 10-C」と「LINUS5-C」を発売

ヒビノインターサウンド株式会社はドイツCODA AUDIOのパワーア
ンプ「LINUS 10-C」と「LINUS5-C」を2017年3月22日より発売
する。

「LINUS10-C」と「LINUS5-C」は、2UのサイズにDSP、ネットワ
ークを内蔵した4chパワーアンプで、CODA AUDIOのスピーカーを使用
したシステムのマネジメントを行う。企業や商業施設などの常設設
備や中小規模の仮設PAなどに適した軽量・コンパクトモデルで、ラッ
クスペースの削減とシステムコストの削減が可能。

パワーアンプには高効率のクラスD動作のスイッチング電源が採用さ
れており、広大なヘッドルームを稼ぎ出す。システム全体の余裕が生ま
れたことにより、正確なサウンドをダイナミックに提供できるよう
になった。出力の大きさに合わせてCODA AUDIOのスピーカーのプリ
セットが組み込まれているため、スピーカーの性能を最大限に活用で
きるうえ、現場でのセッティングが簡易化された。

また、先進のシグナルプロセッシングのひとつであるフェーズリニア
FIR フィルターが採用されることで完全なリニアリティと優れたサウ
ンドパフォーマンスを実現した。ルックアヘッドと周波数分割リミッ
ターも備えており、システムのヘッドルームを増幅させる。

・LINUS-C CORE：「LINUS-C CORE(リナスシー・コア)」と銘打った
DSPには、上位機種LINUS10で使用されているのと同じ高性能チ



LINUS10C

ップ「SHARC」を搭載。32bit のフローティングポイント演算によって生み出された莫大なプロセッシングパワーが、精緻な音声アルゴリズムの統合を可能にし、妥協のない音質を提供する。

・LiNET-C : 標準のCAT5 ケーブルでデジタル音声信号を伝送するネットワークシステム。上位機種LINUS10 のネットワーク「LiNET」が最大8ch(AES3:4 × 2ch) までのデジタル音声信号の送信が可能なのに対し、LiNET-C はその半分、最大4ch までが可能。各アンプへの送信のほか、LiNET-C のリンクアウトを使用して次のユニットに信号を送るデジチェーン接続ができる。LINUS10-C/5-C 内部でのシングルルーティン、リモートコントロールまたはフロントパネルのコントローラーで制御可能。LiNET-C はLiNET と互換性があるため、組み合わせて使用できる。

・LINUS LIVE : 「LINUS LIVE」は、LiNET およびLiNET-C でつながる音響システムを1 台のPC で一括コントロールおよびモニタリングを可能にするソフトウェア。Ethernet を基本としたグラフィカルなユーザーインターフェースで、複数台のアンプを使用する大規模なシステムをシンプルかつ効率的に運用でき、素早く柔軟性のあるシステム構成とチューニング、運用中のシステム管理が可能。直感的でわかりやすいデザインと素早い動作は操作性も抜群で、現場での作業もスムーズに行える。

【問い合わせ先】

ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3880 . FAX : 03-5783-3881

◆ブラックマジックデザイン :

新しい「ATEM Television Studio HD」を発表



Blackmagic Design は2月7日に、放送およびオーディオビジュアルのプロ向けに開発された放送品質のライブプロダクションスイッチャー「ATEM Television Studio HD」を発表した。同製品はATEM Television Studio の後継機で、4 系統の3G-SDI 入力および4 系統のHDMI 入力、マルチビュー、Aux およびプログラム出力、アナログオーディオ入力、内蔵トークバック、Flash ベースの2 つのメディアプレーヤー、極めてクリエイティブなトランジション、エフェクト用のDVEなどを搭載している。

一台ですべてのソース、プレビューおよびプログラム出力、ラベル、オーディオメーターなどを1 台の大画面テレビや放送用モニターでモニタリングでき、各入力の再同期にも対応しているのでオーディオビジュアル・システムのフロントエンドのコントローラーとして使用でき、ボタンを押すだけであらゆるソースをクリーンに切り替えられる。

Mac およびWindows 対応のソフトウェアコントロールパネルが無償で同梱されておりSDI プログラムリターンフィードを介してカメラのリモートコントロールが可能。同社の「Studio Camera」「Micro/URSA Mini カメラ」はすべてリモートコントロール可能なDaVinci

Resolve のプライマリーカラーコレクターを内蔵しているため、スイッチャーからカメラのカラーバランスを調整したり、ユニークなルックを作成したり、互換性のあるレンズのフォーカスおよびアイリス調整、カメラ設定の変更、PTZ のリモートコントロールが可能。またソフトウェアコントロールパネルを複数のスタッフが同時に使用することができるので、1 人のスタッフがプログラムスイッチングを担当し、別のスタッフがオーディオミックスやグラフィックのアップロードなどを担当し、さらに別のスタッフがリモートでカラーバランスを調整したりカメラをコントロールすることができる。

フラッシュメモリーを使用した20 個のグラフィックを保存して2 系統のメディアプレーヤーで使用できる内蔵メディアプールによってカスタム・グラフィックを作成し独自のプログラムで使用できる。天気図、グラフィック、バーチャルセットを画面に挿入できるアップストリームキーヤーも搭載されている。2 系統のダウストリームキーヤーも搭載しているのでグラフィックやウォーターマークを簡単にビデオに追加できる。また、SDI カメラ用のトークバックコンバーターは新しいマイナスマックス機能によってリポーターに自分の声をヘッドセットでエコーして聞こえる問題を解決した。

◆ブラックマジックデザイン :

新しいHyperDeck Studio Mini を発表



世界初、ノンストップ収録可能なデュアルSD カードスロット搭載の小型放送用デッキSD/HD/Ultra HD フォーマットで2160p30 までの収録に対応。

2017 年2月7日 - Blackmagic Design はこの日、Hyper Deck Studio Mini を発表した。プロ仕様のデッキの小型バージョンである同製品は、一般的に入手可能なSD カードやUHS-II カードを使用して放送品質の10-bit ビデオの収録・再生が可能。HyperDeck Studio Mini は6G-SDI を搭載。2160p30 までのあらゆるSD、HD、Ultra HD フォーマットに対応している。HyperDeck Studio Mini は、モニタリング用HDMI、内蔵シンクジェネレーター、FTP 経由でメディアのアップロードが可能ないーサネットを搭載している点で他と一線を画し、デジタルサイネージにも最適である。

HyperDeck Studio Mini は、US\$695 でBlackmagic Design 販売店にて販売中。先進的な設計により小型化されたHyperDeck Studio Mini は、幅5.5 インチ、高さ1.5 インチのコンパクトなボディにプロ仕様デッキのパワフルな機能を搭載している。HyperDeck Studio Mini のこれほどの小型化を可能にしたのは、SD カードへの収録に対応した点だ。廉価で入手しやすく、SSD や他のプロ仕様メディアと比べてSD カードは格段に小さなサイズであることが、その理由だ。既存の Teranex Mini の形状をベースとして設計された同製品はモジュール方式なので、Teranex Mini Rack Shelf をオプション

で購入し、他の製品と組み合わせることでワークフローに適したデッキをカスタマイズできる。

例えば、アナログ素材を扱う必要がある場合は、Teranex Mini Analog to SDI コンバーターを入力に、Teranex Mini SDI to Analog を出力に接続すれば、1U ラックサイズに納まるアナログデッキとして使用可能。HyperDeck Studio Mini は、ATEM Television Studio HD、Blackmagic Web Presenter、URSA Mini、Blackmagic Multi View 4 と組み合わせて使用できる。これにより、モジュールを自由に組み合わせ、カスタマイズしたシステムの構築を可能としている。

HyperDeck Studio Mini はコンパクトなサイズなので、マルチカム撮影でのISO 収録に使用できるだけでなく、巨大なマルチスクリーンでのデジタル広告の再生デッキとして、クライアントのオフィスや劇場での確認や承認用、ポストプロダクションで編集システムとの併用も可能だ。さらに、ライブプロダクションスイッチャーに放送用グラフィックアニメーションを送信するためのフィル&キーソースとしても使用できる。HyperDeck Studio Mini は、無数の可能性や組み合わせ方法を備えていると言える。

HyperDeck Studio Mini は最高品質の6G-SDI を搭載。2160p30 までのあらゆるSD、HD、Ultra HD 機器やフォーマットと互換している。また、内蔵シンクジェネレーターでリファレンス入出力に対応。HDMI 出力を搭載しているため、大画面テレビやプロジェクターへの接続も可能だ。デュアルリンクSDI出力は、HD フォーマットを扱い、アルファチャンネルを含むRGBA ProRes ファイルを再生する際、フィル&キーを別々に出力できる。フィル&キー出力は、アルファチャンネルを含むグラフィックをスイッチャーに送信し、ライブビデオのダウンストリームキーイングを実行できる。HyperDeck Studio Mini は、RS-422 デッキコントロールおよび、FTP 経由でファイルのアップロードが可能なイーサネットを搭載。また、標準IEC コネクタの100-240V 国際対応電源が同梱されているため、世界各地で使用できる。

リファレンス接続とシンクジェネレーターを内蔵しているため、複数のHyperDeck Studio Mini を接続/ロックして、完璧な同期で再生が可能。これにより、複数のHyperDeck Studio Mini を使用して、複数のUltra HD ディスプレイにビデオを同期再生し、8K や16K 以上の高解像度マルチスクリーン・デジタルサイネージを構築できる。HyperDeck のイーサネットコントロール・プロトコルを使用するとリモートコントロールが可能。新しいコンテンツをFTP 経由でアップロードもできる。加えて、メディアファイルはSD カードにローカル保存されているため、インターネット接続が途切れた際にデジタルサイネージのビデオ再生が失われる心配はない。

HyperDeck Studio Mini は、従来のデッキスタイルのトランスポートコントロールを採用。ジョグボタンやシャトルホイールを搭載している。高解像度のLCD には、タイムコード、トランスポート・インフォメーションに加えて、収録/再生中クリップのサムネイルがフルカラーで表示される。さらに、各カードの収録状況、ビデオフォーマット、フレームレート情報、オーディオレベルも同じ画面に表示される。

HyperDeck Studio Mini は、デュアルSD カードレコーダーを搭載。通常のSD カードと高性能UHS-II カードに収録できる。一般的に入手可能なSD カードは廉価で信頼性が高く、プロ仕様の放送ビデオストレージとしての使用に最適。通常のSD カードはSD またはHD ビデオ

に、UHS-II カードはUltra HD に使用できる。SD カードは経年劣化せず、極めて小さなサイズなので、アーカイブ・ライブラリーを構築しても、他のタイプのメディアと比較して全て格段に少ないスペースに納まる。

従来のデッキとは異なり、HyperDeck Studio Mini は即座に再生可能なので、ビデオの頭出しを待つ必要はない。あらゆるカードから、ビデオのあらゆるフレームをいつでも即座に再生可能。デュアルレコーダーによりノンストップ収録が可能なので長時間のイベントに最適だ。1枚目のカードがフルになると、自動的に2枚目のカードに切り替えて収録が継続される。カードはホットスワップ可能なので、フルになったカードを空きカードに交換する間も別スロットで収録が継続される。HyperDeck Studio Mini は、10-bit YUV または10-bit RGB ビデオをProRes ファイルで収録。

ProRes は、世界で最も幅広く使用されているプロ仕様ビデオファイルフォーマットだ。ProRes ファイルはDaVinci Resolve、Final Cut Pro X などのソフトウェアと互換しているため、カードをコンピューターに挿入するだけで、ファイル変換の必要なく編集が開始できる。HyperDeck Studio Mini は、SDI フィル&キー出力経由で、1080p60 までのあらゆるフォーマットのアルファチャンネルを含むProRes4:4:4:4 ファイルも再生可能。これにより、ライブプロダクションスイッチャーに放送用グラフィックアニメーションを送信し、リアルタイムでライブビデオにキーイングが行える。

「HyperDeck Studio Mini は革新的な新しいプロ仕様のデッキです。世界中の他のデッキと比較して、

よりコンパクトなサイズで、多用途に使える利便性に優れたデッキです」と語るのは、Blackmagic

Design のCEO、グラント・ペティ。「フルサイズの放送デッキと同じパワフルな機能を搭載し、小さく低価格なSD カードに収録を行い、ニーズに合わせてデッキをカスタマイズできるモジュラー方式のデッキを発表できるのは、とてもエキサイティングです！ここまで小型でプロ仕様の機能を備えたデッキは他にはありません！」

HyperDeck Studio Mini の主な機能

- SD/HD/Ultra HD 収録・再生
- 6G-SDI 入力 x1、6G-SDI 出力 x1、HDMI 出力 x1
- デュアルSD カードスロットにより、通常のSD カードやUHS-II カードを使用した継続的な収録が可能
- ProRes およびDNx コーデック対応
- フィル&キー付きProRes 4444 再生
- LCD スクリーン (モニタリング、ステータス情報、メニュー設定)
- イーサネットを使用したFTP
- イーサネットまたはRS-422 接続によるリモートコントロール
- 内蔵シンクジェネレーター
- イーサネット給電、PoE+
- 電源内蔵

【問い合わせ】

ブラックマジックデザイン株式会社
www.blackmagicdesign.com/jp

◆パナソニック：「4Kフォト」に対応した超望遠光学60倍ズームデジタルカメラ「LUMIX DC-FZ85」を3月10日より発売



パナソニック株式会社は「4Kフォト」に対応した超望遠光学60倍ズームデジタルカメラ「LUMIX DC-FZ85」を3月10日より発売する。「DC-FZ85」は広角20mmから超望遠1200mmまで撮影できるレンズを搭載し、新ヴィーナスエンジンにより、秒間30コマ連写の「4Kフォト」が楽しめるレンズ一体型デジタルカメラ。

高速、高精度で合焦する「空間認識AF」にも対応したことにより、遠くの被写体の決定的瞬間をとらえることが可能になった。また、好きなフォーカスポイントを選べる「フォーカスセレクト」、複数のフォーカスポイントを撮影後に範囲選択して合成できる「フォーカス合成」が新たに搭載された。さらに、フルHDの4倍の解像度を持つ高精細で臨場感溢れる4K動画撮影が可能となった。

秒間30コマ連射の「4Kフォト」モードは4K連射、4K連射(S/S)、4Kプリ連射の3つのモードを撮影シーンに合わせて選ぶことができる。「フォーカスセレクト」モードは4Kフォト機能を利用して、フォーカスポイントを変えながら撮影し、撮影後、好きなフォーカスポイントの写真を選べる。また、「フォーカス合成」機能を使えば、「フォーカスセレクト」モードを使って撮影後、フォーカス位置の異なる複数の画像を合成し、ピントの合った範囲を広げた写真を作成可能。

◆パナソニック：世界初の4K60p動画記録/4:2:2 10bit 4K30p動画記録を実現したデジタルカメラ「LUMIX DC-GH5」発売



パナソニック株式会社は世界初の4K60p動画記録が可能なミラーレス一眼カメラ「LUMIX DC-GH5」を3月23日より発売する。「LUMIX DC-GH5」は新開発のイメージセンサー「Live MOSセンサー」、新開発の「ヴィーナスエンジン」により、解像・色再現性を向上させ、「質感描写」にこだわったLUMIX史上最高の写真画質を実現した。

新たにボディ内手ブレ補正も搭載され、ボディ/レンズ両方の手ブレ補正を最適に制御する「Dual I.S. 2」に対応。また、世界初の4K60p動画、4:2:2 10bit 4K30p動画のSDカード記録に対応、さらにすべての記録方式で時間無制限に記録ができ、様々なファイル形式に対応した「ファイルフォーマット選択(MOV/MP4)」、グローバルの放送周波数に合わせた「システム周波数切替(59.94Hz/50.00Hz/24.00Hz)」、「4:2:2 10bit モニタリングスルー記録」をはじめ、編集に適したダイナミックレンジのガンマカーブ効果を得られる「フォトスタイル設定(709ライク/シネライクD/シネライクV)」、スローモーション、クイックモーション撮影の「VFR(バリエーションフレームレート)記録」が可能。また、「輝度レベル設定」や「波形モニター表示」、「ゼブラパターン」など映像制作には欠かせない調整、アシスト機能も標準搭載されている。

約18メガの高画素で秒間30コマ高速連写が可能な「6Kフォト」を実現、高画質6KフォトはA1サイズまでプリント引き延ばしが可能。「4Kフォト」は秒間60コマ高速連写に進化した。6K/4Kフォトモードで撮影した秒間30コマ/60コマ連写から1枚選んで保存する際に、前後のフレームを使用した画像合成処理のポストリファイン機能を使えば、高速で動く被写体の撮影時に発生しやすいローリングシャッター歪み現象を補正できる「ローリングシャッター歪み補正」や高感度撮影時のノイズを低減できる「時空間ノイズリダクション」の補正処理によって、一瞬をさらに美しく自然な描写で仕上げることができる。

【問い合わせ先】

LUMIX・ムービーご相談窓口 TEL:0120-878-638

◆パナソニック：マイクロフォーサーズシステム用交換レンズを発売



パナソニック株式会社は、デジタル一眼カメラ「LUMIX G」シリーズで採用している「マイクロフォーサーズシステム規格」に準拠した交換レンズ「H-FSA45200」(写真左)「H-FSA100300」(写真右)を2月23日より、「H-HSA12035」「H-HSA35100」を3月10日より発売する。

240fps駆動の高速・高精度コントラストAF、最新の手ブレ補正システム「Dual I.S. 2」に対応し、「H-FSA45200」「H-FSA100300」は新たに防塵・防滴仕様に対応した。望遠時でも明るく撮れる全域F2.8大口径レンズ「H-HSA12035」「H-HSA35100」は防塵・防滴仕様。他、新たにマイナス10℃の耐低温性能にも対応した。

【この件に関する問い合わせ先】

LUMIX・ムービーご相談窓口 TEL:0120-878-638

◆パナソニック：UHS-II、ビデオスピードクラスV90対応のSDメモリーカードを発売

パナソニック株式会社は、最速ビデオスピードクラスV90に対応した、SDXC UHS-IIメモリーカード2機種(128GB、64GB)を3月23日に発売する。同製品は最低保証速度90MB/秒、最大転送速度は読み出し280MB/秒、書き込み250MB/秒の高速データ転送を実現した。スピードクラス:C10、UHSスピードクラス:U3にも対応しており、あらゆる機器で高速で安定したデータ転送が可能。防水、耐温度、耐衝撃、耐エックス線、耐磁石、耐静電気、内部破損時SDカード本体の発熱や発火を防ぐヒューズ機能など高い耐久性を持ち、データ異常を抑える「おまかせ書き込み機能」と突然の電源遮断に対し保存済みデータを保護する「データプロテクト機能」も備えている。



【問い合わせ先】

DIGA・オーディオお客様ご相談窓口 TEL:0120-878-982